平成２３年度米子市美術館協議会議事録（概要）

議事の概要

議事（１）会長、職務代理の選出
議事（２）平成２３年度の主催事業及び普及事業、貸会場事業の実績について報告。
議案（３）平成２４年度の主催事業及び普及事業、貸会場事業の計画について報告

委員
平成２３年度はたくさんの事業を実施しています。その中で特別展の「三沢厚彦ＡＮＩＭＡＬＳ’１１　ｉｎ　Ｙｏｎａｇｏ」では美術館でお正月というイベントを行い、非常に良かったのではないかと感じでいます。記念品の贈呈者が１５０名となっていますが、実際の来館者は何名でしたか。

美術館職員
１月２日、３日併せて、１３００人程度の来館者がありました。特に２日は帰省客が多かったということもあって、８８０名の来館者があったと記憶しています。

委員
平成２４年度は、美術館は市展を最後に休みになるのですか。

文化課
市展後、休館を予定しています。

委員
美術館が休館中の他の委員のご意見を聞きたいのですが。

委員
美術館は展示に適しています。他の施設を探してもパネルを運んだりする必要があります。今は新しく美術館ができるのを楽しみに待つことになると考えています。

委員
県展の会場は決まりましたか。

美術館職員
武道館を予定しています。

委員
武道館が候補ですね。米子市美術館の収蔵活動はすごいです、改修期間は使えないため、武道館につ

いて調べてみました。障害や壁面の関係を調べましたが、展示には向いていません。どこの分野も困っています、美術館が良くなるための期間であるため仕方がないと感じています。また創作活動は皆さんがしています。写真では市展が４月にあるため早め早めに準備するように言っています。

委員

分野別に言うと版画は遅れています。私は美術館は博物館ではないと考えています。博物館は物を展示するだけですが、美術館には次の世代を育てるという役割があると考えています。そのためには事業にあるような図画工作室というのが必要になりますが、今の美術館にはそういった設備はありません。児童文化センターが次世代を育てるのか、それとも性質を考え図書館、美術館が分担し役割を果たすのか、何年計画でやっていくのか、ずっと考えています。来年度の事業で図画工作の体験教室をさせてもらいますが、こういったことが美術館でもできるようになることを期待しています。

文化課

今までこのような意見を言われた方はいませんでした。美術館整備は何年もかけて議論してきたが、図画工作室という形にはなっていない。一つにはバックヤードが無く、ギャラリー的美術館という性質が関係しており、収蔵庫も少なく、収蔵庫を増やしてほしいという要望から、いろいろ設計をしておりますので、先生の言われた図画工作室は別に考えるしかないかなと思います。

委員

設計には色々な方の英知が集まって出来上がったと思いますが、そういう話は無かったのですか。

文化課

今までの記録も目を通していますが、ありませんでした。

委員

小学校で、子どもたちが教科の中で一番好きなのは体育と図工です。子どもたちの関心は高いが、文科省の推進しているのは国語算数の力を伸ばすことと感じています。小学校では、図工の授業は１週間に１．５時間程度くらいの間隔で行っています。子どもたちは図工の授業は好きですが、そこに力を入れられないことを歯がゆく思っています。子どもたちは三沢さんの彫刻展を動物園に行く感覚で観に行っており、非常に喜んでいたように感じています。子どもたちがそういうものに関心を持つということは、将来的に次世代の子どもを育てるという部分でよいことだと思います。来年度はワークショップ等色々な企画もありますし、新しい美術館の開館と併せて充実してもらえたらと思っています。

委員

収蔵庫は大きくなりますか。

文化課

１ヶ所が２ヶ所となります。

委員

冷暖房の関係も直りますか。

文化課

冷暖房といいますか、一定の温度、湿度に保つ部屋に改修します。

委員

改修工事が行われるため、美術館は休館となり平成２５年８月に開館します。次回の協議会の時には柿落としの紹介もあるでしょう。たぶん美術館の開館は皆さんが心待ちにしていますし、新しくできる美術館に期待も持っていただくという意味でも、ぜひ米子市民全体に広く、また早い時期から PR をお願いしたいと考えています。基本設計が終わった段階で多少は報道がされましたが、もっと詳しく、こういうものができるといった PR をすれば、市民の期待感はすごく高まると思いますし、もっと盛り上がっていくと思います。それと工事期間中に美術館の職員の方々はどこにおられますか。

文化課

５月の連休まで市展があり、終わり次第、長砂町の埋蔵文化財収蔵センターに移動する予定です。場所は旧清掃工場、清掃課のあった場所です。電話番号も今の番号を引き続き使用できるようにする予定です。

委員

収蔵品はどこに保管しますか。

文化課

収蔵品は収蔵庫から動かさずに工事します。

委員

あくまで提案ですが、美術館がオープンした後、公会堂の改修があります、公会堂の設計者である村野藤吾さんの個展をしてはどうでしょうか。岩手県の盛岡歴史館でも、この設計者である菊竹清訓さんの個展をしています。米子市では東光園の設計や、島根県立美術館の設計を手がけ、地方都市でもそういう建築家の展示をしているので、米子でもぜひ公会堂も新しくなりますし、考えていただけたらなと思います。

委員

書道は作品がとても大きいので、ほとんど展示室は美術館を頼りにしています。その点新しくオープンするのを楽しみに待っております。

委員

美術館協議会では新しい美術館の図面等は示してありますか。

文化課

美術館協議会の委員さんは、それぞれの団体とつながっている方が主で、そういう方は他からいっていますが、新しくこられた方には今までに機会はありませんでした。

委員

指定管理者は変わらないのですね。

文化課

１０年は変わりません。

委員

質問があった時は、長砂の埋蔵文化財収蔵センターに聞きに行けばよいのですか。

文化課

学芸員と直接やり取りが必要な場合を除き、美術館に関することでしたら、文化課で対応できると思います。埋蔵文化財収蔵センターは分かりにくい場所にありますし、ぜひ文化課のほうにお越しください。

委員

柿落としについてなにか話しがありますか。

文化課

美術館関係の展覧会というのは非常に大掛かりな面もあります。たとえば柿落としを平成２５年８月からとしますと、工事が一ヶ月程度遅れた時に大変迷惑をかけることになります。このため柿落としは少し慎重にしております。

委員

柿落としについて色々考えておられますが、柿落としまで考えなくても。展示室が広がるわけではなく、むしろ、パネルを収納するため少し狭くなります。事務室は今回広がります、常々見ていましたが、事務室の奥の狭小なスペースで学芸員は仕事していますので、気の毒に思っていました。ここ何年かよく企画も立てていますし、よくがんばっていると思っています。閉館に伴い、皆さんが困っていることが米子市美術館の特徴であるとも考えます。貸しギャラリーが悪いイメージがあるように言われますが、それだけみんなが利用しているということです。今回この点を特に感じました。アニマルズもよい企画であったし、新しく美術館がオープンするのと楽しみしております。

その他連絡事項

文化課

最初に博物館法改正についてご説明いたします。

表１のように博物館法が改正され、美術館協議会の委員の任命基準を地方公共団体の条例で定めることになりました。現行では米子市美術館条例施行規則で任命基準を定めております。任命基準を条例で定めるにあたり、文部科学省令で定める基準を参酌することになっているため、表 2 の基準を参酌し、米子市美術館条例を表３のように改正します。

続きまして、指定管理者モニタリングについてです。

今年度から米子市は指定管理者モニタリング評価（別添資料）を行うことになりました。これに伴い第三者評価として協議会の意見を平成 24 年 7 月から 8 月頃に取りまとめる必要があります。初めての試みであるため、23 年度の第三者評価は会長に代表して評価してもらおうと考えています。

最後に、図書館・美術館整備事業についてです。

資料としましては米子市ホームページで公開されている基本設計の図面等をつけてあります。整備事業で大きく変わる点は、喫茶室の増設、2 階の倉庫を収蔵庫に変更、第１展示室、第 3 展示室に可動式の間仕切りを設置することです。現在基本設計に沿って実施設計を行っております。今年の 5 月の市展を最後とし、連休明けには休館となる予定です。供用を再開するのは平成 25 年 8 月を予定しております。質問はありますか。

委員

第１展示室、第３展示室は可動式のパーテーション、第４展示室は壁の中に収納する、第２展示室の壁はどこに収納しますか。

事務局

現在のように、荷解室に置きます。

委員

喫茶室はセルフサービスですか、それともどこか業者に入ってもらうのですか。

事務局

現在はきちんとした喫茶店を考えておりますが、どのようなメニューを提供するかは検討中です。

十分な食事を提供できる設備ではないので、飲み物を中心にケータリング程度が基本となると思います。

閉会